

ひまわりからの

メッセージ

106号

2020.5.11.

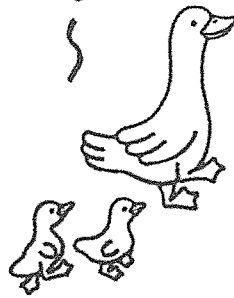
NPOひまわりの花内
西濃圏域

発達障がい支援センター

発行人: 中野なみ子

夢、ゆめの夢……

母の日に思うこと



さて「皆さんの夢は何ですか?」と、今、こんな時にたずねたりしたり、きくとひんしゆくを四頁うでよう。「今、うちの工場は大変なんです。」「子どもたちのことではいっぱいなんです。等々の声がわきあこつマ。」「先生は各気ですわね」と吐りれそうです。でも、こんな時だから私の夢って何だったのだろうかと思ってみるのも悪くないのではありませんか。

「お花屋さんになりたい。」「ケーキやさんが良い。」「運転手。」「など保育園の子ども達が夢を語るのを見ていて、私は小さい時にそんなことは思っていないかったなあと思ひます。でも、母が手芸が好きで、私のズボンの破れに当て布をしてしゅうをしてくれたり、セーターを編んでくれたりしたので、私も大きくなったら出来るようになっていたなあと思ひました。そして、田舎春期の頃からは、糸を紡いで、それを染めて、織って、洋服に仕立てる

ことをしてみたいと思うようになりました。知的発達障がい者も、くりだったSちゃんに出会うまでは……。

この道に進んだことを後悔しているわけではありません。生まれ変わっても、私はやっぱり子ども達に関わる仕事をしたいなあと思ひます。でも夢は夢でいいか……と。

今日は母の日です。ずいぶん前のことですが、娘たちが私に一冊の冊子をプレゼントしてくれました。「Memory」と題されたその一冊は、私の母と娘たちとの思い出が書かれています。おばあちゃんが作ってくれたおやつのこと、畑に一緒に行ったこと、遊んだこと等々、そこにはおばあちゃんの思い出がいっぱい詰まっています。そうなのです。幼い娘たちにとって私の母が母そのものだったのでしょうか。私は母親として一体何をしたのでしょうか。教材を作る傍で「ひまわりの子は良いなあ。」「私も作ってほしい……。」と言われながら、私が母親として唯一娘たちに作ったのは、ウェディングドレスとベールだけでした。

そして、おそろく私は、私の母のように孫たちから「おばあちゃんのお思い出」と言ってもらえるようなこともないでしょう。母の日の今日、亡き母が残したつまみ絵の額やテーブルセーターをながめながら、「母としての役割」を私に代わって尽くしてくれた母のさうがうに荒れた手のことを思ひました。そして、母の夢は何だったのだろうかと思ひました。

徒然なるままに……



つれづれなるままに日ぐらし硯に向かひて心に移りゆく
よしなしごとを、そこはかとなく書きつくればあやしくこそ
ものぐるほしけれ

昔、こんな文章を読みませんでしたか？、記憶にありますか？これは吉田兼好の『徒然草』の冒頭の一節です。

コロナウィルスの影響で予定されていた園かう小学校への引きつぎ会や講演会、研修会、園や学校への巡回訪問など、私の予定の九割がキャンセルや延期になりました。決して暇なわけではありませんが、「つれづれなるままに」の心境で、新聞や書籍に目を通し、その中で心に留まった「よしなしごと」を今回は綴ってみようと思います。

行動における動機について

私たちが何か行動を起す時、動機があります。心理学では、行動そのものが目的である場合と、何かを得るのが目的である場合があって、行動そのものが目的の場合を内発的動機づけ

け、何かを得る目的のための場合を外発的動機づけと言っています。例えば勉強したうゲームが買ってもらえる。だから勉強するのは外発的、本を見てたら面白くなって色々調べ始めたという場合は内発的と言えるでしょう。ところが、内発的な動機づけで行動しているのに、外的な報酬を与えようとすると、内的動機づけが低減してしまうことが知られていて、これをアンダーマイニング効果と言われるそうです。子ども達にとって学習を考える参考になります。

学習という面で言うと、当然自分かう自発的にやっていく方が楽しいし、学習も深まります。自分で決めて、自発的に取り組ませるなんて難しいと思われたり、子どもと一緒に楽しめるクイズ形式を考えてみていいかもしれませんね。

語い数が少ないお子さんだったら、「し」のつくものを探してみようとか、「あ」のつくことは競争して探そうとか、大人も結構楽しめるでしょう。そんな中で、例えば「しはる」とか「しくじる」とか動詞なども考えてみたりできるでしょう。

漢字の苦手な子だったら「しん」と読む字を探してみたり、「さんすいへん」の字を見つけるとか、「水」に關係するとは「集め」とか、お子さんが新しい発見ができるような工夫をしてみようでしょうか？、

いずれにしても、子どもたちは好奇心の固まりですから私たちの頭も柔軟にしてみたいですね。

映画「教室の子供たち」の羽仁進の世界

テレビの深夜番組で羽仁進のドキュメンタリー映画に
ついては枝監督が語っていました。

羽仁進の祖母は自由学園を創設した羽仁もと子。父
は歴史学者の羽仁五郎。母の節子は婦人運動家という家
庭に育った進は吃音がひどく、学校がいやで動物に親し
んで育ったそうです。つまり教え難い子どもだったのです。

昭和三十年に撮影した「教室の子供たち」は子役を使わ
ず、当時の東京下町の小学校二年生の子どもたちが実に
生き生きと描かれています。そして中でも消極的な子や
自分が出しきれない子に対する進の目は、とてもあたたか
く、その時その時の一瞬をとらえていてとても素敵でした。

私の母は「婦人の友」という雑誌の愛読者で幼い時から
羽仁家の話は聞き知っていました。私は映画を観たこ
とはありませんでした。進は、後にアフリカで動物たちのド
キュメンタリーを撮るようになるのですが、現在九十一歳の進
はこんなことを言っていました。

「違うものを嫌うのは、おかしい。異質だから素敵で
いうこと、感心することがないと人生つまらない。子どもたちの
そのままじゃなくて、内にかくれているものが飛び出す瞬間
が撮りたいのだ。」

進については、昔、吃音の人たちの団体が講演を頼んだこ
とがあったそうです。当時はまだ吃音がかなり多く見られ
たそうですが、進は「僕は吃音ではありませんから……」と
断ったという有名な話があります。おそろしく進にとては吃
音が吃音じゃないかなんて大した問題ではなかったのだらう。

「生死で人生を測るなんて、バカなこと。」と言う九一歳の進は
今でも好奇心旺盛の子どものようでした。

是枝監督に言わせると、「今、再評価されている。」というこ
とでしたから、もしかしたら、観ることができるかもしれませ
ん。「教室の子供たち」の生き生きとした姿が……。

発達心理学について

先日、中日新聞に発達心理学についての記事がありました。
コロナウイルスの感染予防のために自宅にこもりがちな親子の
ために、子どもの発達かわかりやすく図示してありました。

胎児期は、子どもの生涯にわたる健康にとって重要な時期で
生活習慣病との関連について明らかになってきているとのこと
です。

愛着関係(アタッチメント)については、他者への「基本的信頼
感」は人生の土台であると記述しています。養育者(主に親)
との間の特別な絆を作るために、赤ちゃんは、泣く、ほほえむ、手足
をバタバタする、視線を向けてくる等々親(養育者)に向けて
様々な行動を起こしていきます。そして親がそれに応え、親の

方からも様々な働きかけをしていくのです。

そして、お母さんたちが一番困るイヤイヤ期、反抗期と言われる自己主張の時期は、子どもの成長の証しなのです。大人は自分の思った通り、言う通りに子どもを従わせようとしては、それに従わずに反発することは、どの子ども通らなくてはならない。発達の道すじと言えらるでしょう。

幼児期、児童期、青年期……と人は発達していきますが、私達はその年齢その年齢で必要な力を育んでいくわけです。お母さんや先生方も悩まずギャングエイジの時代も、第二次の反抗期も子ども達が大人になっていくための大切な道筋だと知ってれば、「それも発達の一段階だよ」と思えることはたくさんあるのではないですか。

ただ、記事には「自己抑制力」とありましたが、いわゆる欲求不満(フラストレーション)に対して耐えていく力は、一朝一夕には育っていきません。この力を育てていくのは、実は家庭の力だろうと思います。子どもの欲求が全て満たされるのではなく、適度の欲求不満を経験したり、周りの大人がフラストレーションに対処して、どの様に解決していくかという適切なモデルを示していくことが必要なのです。マズローという人は人間は自己実現に向かって絶えず成長していくという人間観に基づいて欲求階層表を提唱していますが、人間の成長欲求として考えると、発達心理

学は「生涯発達心理学」としてとらえる事ができると思っています。

青年期は、自分とは何者か、自分はどういう風に生きていくのかというような問いかけをしつつ自己を確立していく時期と考えられています。そこに「アイデンティティ」ということが使われて、青年期の発達課題であると考えられて来ました。ところが中年期の問題もあることがわかってきました。

中年期、ちやうど子どもたちのお父さんたちの年齢です。生産性が高まり社会的活動が活発になった反面、体力の低下や容顔の変化、家庭や職場での役割の変化などがおききます。そうすると新たな価値観の再構築が求められるわけですが、心理的な危うさが乗り越えられない人もいるわけです。

今年は、コロナ危機で、今までの価値観が問われることになり、生活事体の変化もお父さんやお母さんの心に大きな不安を抱かせていることでしょう。こんな時こそ、離婚なんて考えずにご夫婦が一丸となって子どもたちを守ってほしいと願っています。

もちろん、私も、生涯発達しつづけていきますよ!!



六月八日の例会は、また会場が押さえられません。泉福祉課の示す条件も厳しいです。皆さんに会えるといいのですが……。